



食品安全委員会の調査で 意識差が明らかに

食品添加物や農薬、化学物質など、食の安全についてのさまざまな情報を、専門家はどのように考えているのでしょうか。

内閣府の食品安全委員会は、2015年に「一般消費者（インターネット調査）：全国の20代以上の男女計3,600人」と、「食品安全の専門家（メール調査）：食品安全委員会専門委員161人」に調査をしました。

質問は「健康への影響に気を付けるべきと考える項目」について、19項目※¹の中から、その必要性の大きい順に10位まで順位を付けてもらうものです。

※1 1.病原性微生物 2.フグ毒・キノコ毒などの自然毒 3.BSE(牛海綿状脳症) 4.農薬の残留 5.食品添加物 6.動物用医薬品の畜産物への残留 7.アクリルアミド・クロロプロパノールなど 8.食品容器からの溶出化学物質 9.カビ毒 10.カドミウムなどの自然界の金属元素 11.ダイオキシン類 12.遺伝子組換え食品 13.輸入食品 14.アレルギー 15.健康食品・サプリメント 16.タバコ 17.飲酒 18.偏食や過食 19.その他

結果は項目ごとに中央値※²の順位を比較し、最も多かったのが一般消費者では「病原性微生物」（半数以上が1位～3位と回答）、専門家は「タバコ」（半数以上が1～2位と回答）でした。

専門家は、タバコに次いで病原性微生物で、一般消費者と大きな違いはありませんでしたが、続く過食や偏食、アレルギー、飲酒は、一般消費者は11位以下と順位が低く、意識の差が見られました。

一方、消費者の関心は病原微生物に次いで、農薬の残留、食品添加物と続きますが、専門家は10位以下と順位が低いことが分かりました。

※2 全サンプルを大きい順に並べ替えたちょうど真ん中のデータのこと。例えば「病原性微生物」は、一般消費者の3,600人の回答を1位から順番に並べると、ちょうど真ん中の1,800.5人目（1,800人目と1,801人目の平均）の回答が「3位」です。これは、一般消費者の半数以上が1位～3位と回答したことを意味します。

今月のテーマ

『食べるなキケン』のウソ・ホント 専門家と消費者の意識差

意識差をもとに リスクコミュニケーションを

以上の結果より、専門家、消費者とも関心が高いのは食中毒でしたが、それ以外は意識にかなりのギャップがあることが分かります。

この調査は、食品安全委員会がリスクコミュニケーションに役立てるために行われたものです。食品安全委員会のWebサイトを見ると専門用語が多く、専門家のメッセージはなかなか消費者に届きません。両者の意識差を踏まえて、専門家は消費者が心配していることについてもっと分かりやすく説明して、リスクコミュニケーションに取り組んでほしいと思います。

食品安全委員会「食品に係るリスク認識アンケート調査の結果について」
http://www.fsc.go.jp/osirase/risk_questionnaire.data/risk_questionnaire_20150513.pdf

執筆者PROFILE

消費生活コンサルタント
もりた まき
森田 満樹



消費者団体(一社)Food Communication Compass代表。消費生活コンサルタント、東京海洋大学非常勤講師。食品安全、食品表示、消費者問題などで、講演や執筆活動を行っている。

国の審議会・検討会は、消費者庁・食品表示一元化検討会委員、食品添加物制度に関する検討会委員、厚生労働省・食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会委員など。

著書は『新しい食品表示がわかる本（女子栄養大学出版部）』『食品表示法ガイドブック（ぎょうせい）』など。

vol.22

くらしの
安全・安心

今月のテーマ

だまされやすさ心理チェック!

作成：立正大学心理学部教授 西田公昭

暮らしに潜む消費者トラブルから身を守るための情報を、
京都府消費生活安全センターからお届けします。

消費者庁 消費者ホット
ライン188 イメージ
キャラクター「イヤヤン」

「自分は大丈夫」という思い込みは危険です。
自分がどんなタイプかチェックしてみましょう！

当てはまる項目に○をつけてください。

1 自分の周りにあまり悪い人はいないと思う ☐

2 相手に悪いので人の話を一生懸命聞くタイプだ ☐

3 たまたま運の悪い人がトラブルに遭うのだと思う ☐

4 知人から「効いた」「良かった」と聞くと、やってみようと思う ☐

5 有名人や肩書きのある人の言うことはつい信用してしまう ☐

6 人からすすめられると断れないタイプだ ☐

7 迷惑をかけたくないので家族にも黙っていることがある ☐

8 実際、身近に相談できる人があまりいない ☐

9 しっかり者だと思われたい ☐

当てはまった項目は、
合計何個でしたか？

結果

合計 個

○の数が多いほど消費者トラブルに
遭う**危険度が高**くなります

1・2・3に○をつけた人は、
トラブルに対して危機意識がうすい傾向

4・5・6に○をつけた人は、
だまされているのに気がつかない傾向

7・8・9に○をつけた人は、
だまされたとき一人で抱え込んで
しまう傾向があります。

参考：消費者庁発行「高齢者・障がい者の消費者
トラブル見守りガイドブック」P49

消費者ホットライン（全国共通）
（お近くの消費生活センターにつながります）

いやや!
188
（局番なし）

京都府消費生活安全センター

消費生活相談 ☎075-671-0004
9：00～16：00（平日）※年末年始休

土日祝日相談（緊急のみ） ☎075-257-9002
10：00～16：00（土日祝）※年末年始休

京都生協 検査・点検報告

残留放射性物質の検査の詳しい内容を**京都生協ホームページ**で公開中！

工場点検レポート

京都生協コープ商品「京のだし巻」を製造する（株）吉田喜を点検しました。原材料や製造工程など、仕様書通り適正に運用・管理されていることを確認しました。また施設の衛生管理や異物混入対策などについても問題がないことを、工場内や記録類で確認しました。

▲ **焼成工程**
仕様書通りに配合された原材料を型に充填、型くずれしないように焼き上げます。

▲ **焼き上がり**
焼き上がりの中心温度が基準内であることを確認し、すぐに冷蔵庫で冷却されます。

京都生協ホームページでも産直商品、京都生協コープ商品の
産地・工場点検の様子をお知らせしています

〈10月度検査結果〉

農産物残留農薬検査		8 検体
米の残留カドミウム検査		0 検体
卵質検査		780検体
鶏卵サルモネラ検査		13検体
微生物検査	店舗調理商品	101件
	京都生協コープ商品 その他	24 件 46 件
	京都協同食品 プロダクト(株)商品	9 件
残留放射性物質検査		3 件

京都生協の点検項目・
検査基準に照らし
安全に供給できる
ことを確認しました。

08 コーポロ 2021年1月号

コーポロ 2021年1月号 09